

重要業績評価指標(KPI)実績値(平成29年度交付金事業)

参考資料

No	交付金種類	交付金事業名及び内容	事業費(千円)	交付金充当額(千円)	重要業績評価指標(KPI)	目標値(H31.3)	単年度目標値(H30.3)	実績値(H30.3未現在)	目標値の達成	KPIの検証	達成又は未達成である理由	今後の方向性	担当課
1	地方創生推進交付金	<p>きくよう健康ビジネス起業化プロジェクト</p> <p>菊陽杉並木公園のスポーツ広場やふれあい広場に隣接し、温浴施設や野菜等の直売所等が集中する総合交流ターミナル施設「さんふれあ」の機能を活用し、健康拠点として確立させ、町の健康事業と連携した事業展開を行う。さらに、町内に健康づくりの取組を波及させるとともに、健康、運動、食事を軸としたしごとづくりによる雇用創出や、農産物等を活用した健康ビジネス化の推進により町の農産物や加工品等の販路拡大を図り、経済が循環する仕組みをつくる。</p>	35,037	17,518	「さんふれあ」の売上総利益(千円)	166,306	163,046	144,564	×	平成29年度の実績値は144,564千円であり、目標値である16,046千円には至っていない。	平成28年度は熊本地震後の温浴施設の利用者の増加により、大幅に利益が増加したが、平成29年度は11月から健康増進ジムの新設とレストランの改修が開始され、レストランや大広間の営業を停止したため、利益が減少した。	平成30年度は、直売所は営業するものの、温浴施設を含む大部分は休業に入るため、売上額の増加は見込まれないが、再オープンする秋以降に、新たな機能を持ってリニューアルしたさんふれあを広くPRし、多くの利用者呼び込み、KPIの達成を図る。	農政課
					地元農産物、加工品等を活用した健康メニュー開発品数	6	2	7	○	平成29年度から開始した本事業について、単年度目標値である2品を大幅に上回り、7品の開発が完了した。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内飲食店が多く所属する町商工会等に協力を依頼し、幅広く募集を行った。 ・健康総合企業であるタニタとメニューを開発するメリットと、同企業の業績と知名度の高さがポイントとなり、応募店舗が予想を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の実績を基に、客層や男女比などの調査を行い、今後の課題を分析する。 ・ホームページや郵送によるお知らせを中心とした周知を図ると共に、直接勧誘を行い、積極的な店舗募集を行う。 	農政課
					健康データカードの利用者数(人)	800	300	662	○	実績値は目標値300を大幅に越え、平成29年度末時点で662人となり、目標値を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年1月9日から会員の募集を開始 【周知方法】 ・町ホームページ、広報紙、チラシの配布、町施設等へのポスターの貼付 ・企業への訪問及び事業説明 ・体組成計測定会実施による会員募集 ・取組の輪を広げるため、平成29年度の参加料を無料化 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町内企業への訪問や測定会などを行うことによる周知等の実施 ・更に多くの方に参加していただくために、平成30年度においても参加料を無料化 	健康・保険課
					地元農産物等の販売額(千円)	617,834	614,149	587,819	×	地元農産物等の販売額は、「さんふれあ直売所売上高」と「菊池地域農業協同組合の菊陽中央支所耕種及び園芸特産販売実績」の合計額としているが、実績額は587,819千円と目標値を下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> 【JA菊池について】 総代会前の資料であるため、確定値ではないが、熊本地震後、町内の耕種(米、麦等)の販売額が大幅に減り、園芸(青果、花卉、果樹等)の販売額が増加していたが、今年度においては耕種が大きく増加したものの、熊本地震前の販売額には至っていない。 【さんふれあについて】 野菜の不作により直売所の野菜が品薄であったことに加え、健康増進ジムの新設とレストランの改修が11月から開始されたことにより、客が3~4割減少したために直売所の販売額が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 【JA菊池について】 平成30年度は、町と農家とJA菊池で連携して大阪市梅田の販売ブースに菊陽にんじんやスイートコーン等を展覧し、農産物とともに町内企業の加工品等も併せて販売することで町のPRを行い、特産品の認知度の向上を図る。 【さんふれあについて】 平成30年度は、直売所は営業するものの、温浴施設を含む大部分は休業に入るため、売上額の増加は見込まれないが、再オープンする秋以降に、新たな機能を持ってリニューアルしたさんふれあを広くPRし、多くの利用者呼び込み、KPIの達成を図る。 	農政課